



なかがわ



主な内容

県立高校再編計画に関する調査特別委員会の設置 (2P~3P)

ここが聞きたい！ 一般質問 (5人) (5P~9P)

所管事務調査報告 (10P~11P)

特別委員会の経過・議会のうごき (12P~13P)

☆キラリ町おこし☆・編集後記 (14P)

平成25年第6回那珂川町議会定例会は、12月4日に開会し、会期を3日間と定め、一般質問、議案の審議などを行いました。

今期定例会に付議された事件は、人権擁護委員の推薦意見、条例の制定や一部改正、一般会計等の補正予算、県立高校再編計画に関する調査特別委員会を設置などが審議されました。

なお、一般質問は5人の議員が行いました。

「県立高校再編計画に関する調査特別委員会」を設置

馬頭高校の存続を目的に

現在、栃木県では県立高校再編に関する検討会議を設置し、県立高校再編計画全体の検証や県立高校のあり方などについて検討がなされているところです。

この検討会議の協議項目の中には、県立馬頭高校の廃止や統合ということも盛り込まれる可能性が否定できないと思われます。

それを踏まえて、議会としても馬頭高校の存続に関して調査研究を行い、ほかの団体等の動向も見極めながら、県に対して馬頭高校存続の要望を行っていくことなどを目的に、議員全員による「県立高校再編計画に関する調査特別委員会」を立ち上げました。

なお、委員長に小川洋一議員、副委員長に益子明美議員を選出しました。

● 条例制定

平成26年1月1日から同年12月31日までの間における那珂川町長、副町長及び教育長の給与の減額に関する条例

町長の給与を

10%減額

月額72万円を

64万8000円に

町長10%、副町長及び教育長の給与5%をそれぞれ減額し、平成26年1月から1年間実施することに賛成しました。

減額後の月額は次のとおりです。

- ◎ 副町長 55万5750円
- ◎ 教育長 50万8250円

八溝山周辺地域定住自立圏形成協定の締結へ

那珂川町と大田原市の間で

大田原市が中心市となり、八溝山周辺地域定住自立圏構想が進められています。那珂川町と大田原市との連携施策として、夜間救急診療など40項目について、協定を締結することに賛成しました。

なお、協定書への調印式が1月27日に、大田原市内で行われ、大金議長ほか議員が立会いました。



那珂川町と大田原市のほか6市町で調印

する 立ち上げる!

第6回 定例会

県立高校再編計画に関 調査特別委員会を

●平成25年度
一般会計及び特別会計、水道事
業会計補正予算

介護福祉施設等整備
事業費を補正

旧和見小学校跡地に建設予定

★一般会計

人事異動及び給与の改定に伴う職員人件費の調整のほか旧和見小学校跡地に建設予定の介護福祉施設整備事業への補助金1億1600万円や国県補助事業費の追加認定になったものが主なもので、総額8300万円を増額しました。



旧和見小は「地域密着型特別養護老人ホーム」の敷地として利用される

★ケーブルテレビ事業特別会計

施設管理運営費など1000万円を増額

★介護保険特別会計

施設介護サービス給付費など1800万円を増額

平成25年度一般会計及び特別会計補正予算 (単位：千円)

会計名	補正前の額	補正額	計
一般会計	8,428,100	83,000	8,511,100
ケーブルテレビ事業特別会計	380,000	10,000	390,000
介護保険特別会計	1,580,000	18,000	1,598,000
下水道事業特別会計	423,000	500	423,500
農業集落排水事業特別会計	71,000	600	71,600
簡易水道事業特別会計	187,000	17,000	204,000

★下水道事業特別会計

施設管理費など50万円を増額

★農業集落排水事業特別会計

施設管理費など60万円を増額

★簡易水道事業特別会計

維持管理費など1700万円を増額

★水道事業会計

人件費など19万円を増額

●契約の変更

小川小学校校舎

大規模改修工事

1000万円を増額

◎変更理由

窓ガラスの飛散防止対策費用

◎変更後請負契約金額

1億9527万9000円

◎工期の変更

平成26年2月26日

●指定管理者の指定

ゆりがねの湯・
定住センターの管理
を指定管理者に移行

ゆりがねの湯及び定住センターの管理を指定管理者に行わせることに賛成しました。

ゆりがねの湯は、平成6年に建築して、町が管理運営をしてきましたが、町行財政改革の一つとして、指定管理者に行わせることになりました。

◎指定管理者に指定する相手方

宇都宮市

株式会社 コスモフラップ

◎指定の期間

平成26年4月1日から

平成29年3月31日まで

● **人権擁護委員の推薦意見**
 現在、人権擁護委員である渡邊 恵子氏（小川）を推薦（再任）することに賛成しました。

● **陳情等**
 ・ **陳情内容**
 新聞購読料への消費税軽減税率適用を求める陳情について

・ **陳情者**
 読売新聞小川販売所
 鈴木 亨氏ほか2氏

・ **審査結果** 採択

● **意見書**

新聞購読料への消費税軽減税率適用を求める陳情の採択により、国の関係機関へ意見書を提出することとしました。

● **契約締結**

工事名 小川総合福祉センター1階
 防災型太陽光発電事業整備工事
 契約の相手方
 宇都宮市 テクノ産業株式会社

契約金額

1億1037万6000円

工期 平成26年3月7日

● **栃木県後期高齢者医療広域連合
 議会議員の選挙**

指名推薦により、福島泰夫町長を議員に選出しました。

賛成：○ 反対：● ※大金市美議長は採決に加わりません。

議案議決の状況

議案の内容	議員名	佐藤 信親	益子 輝夫	塚田 秀知	鈴木 雅仁	益子 明美	岩村 文郎	小林 盛	川上 要一	阿久津武之	橋本 操	石田 彬良	小川 洋一
議案第1号 人権擁護委員の推薦意見について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号 平成26年1月1日から同年12月31日までの間における那珂川町長、副町長及び教育長の給与の減額に関する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号 那珂川町職員の修学部分休業に関する条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号 那珂川町職員の高齢者部分休業に関する条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号 那珂川町税条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号 那珂川町国民健康保険税条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号 平成25年度那珂川町一般会計補正予算の議決について		○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号 平成25年度那珂川町ケーブルテレビ事業特別会計補正予算の議決について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号 平成25年度那珂川町介護保険特別会計補正予算の議決について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号 平成25年度那珂川町下水道事業特別会計補正予算の議決について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号 平成25年度那珂川町農業集落排水事業特別会計補正予算の議決について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号 平成25年度簡易水道事業特別会計補正予算の議決について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号 平成25年度那珂川町水道事業会計補正予算の議決について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号 大田原市との間において八溝山周辺地域定住自立圏形成協定を締結することについて		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号 小川小学校校舎大規模改修工事請負契約の変更について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号 指定管理者の指定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号 栃木県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び栃木県市町村総合事務組合同規約の変更について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号 栃木県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び栃木県後期高齢者医療広域連合同規約の変更について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号 那珂川町小川総合福祉センター防災型太陽光発電事業整備工事請負契約の締結について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
栃木県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第1号 県立高校再編計画に関する調査特別委員会の設置について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
県立高校再編計画に関する調査特別委員会の閉会中の継続調査について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第4号 新聞購読料への消費税軽減税率適用を求める陳情について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発委第1号 新聞購読料への消費税軽減税率適用を求める意見書の提出について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

平成26年
 第1回臨時会が
 開かれる

平成26年1月17日に平成26年
 第1回臨時会が開かれ、平成25
 年度一般会計補正予算及び那珂
 川町小川総合福祉センター太陽
 光発電事業整備工事請負契約締
 結について審議しました。

◎平成25年度一般会計補正予算
 （全員賛成 原案可決）

環境のまちづくり事業におい
 て、各家庭で太陽光発電等設備
 を導入する場合に対し補助する
 ため、500万円を増額しまし
 ました。

なお、これにより一般会計の
 総額は、85億1610万円とな
 りました。

◎小川総合福祉センター太陽光
 発電事業整備工事請負契約の
 締結
 （全員賛成 原案可決）

契約の相手方
 宇都宮市
 株式会社 美工電気

契約金額
 8687万7000円

工期
 平成26年3月25日

県営馬頭処分場における放射性廃棄物の扱いについて、次の3点について伺う

質問 前町長は、県営馬頭処分場に放射性廃棄物は絶対に入れることはないと言ってきたが、10月に県が行った、処分場の基本設計見直しの説明会では、福田知事が最終的には那珂川町と話し合って決めていくと、事実上放射性廃棄物の受け入れを認める発言をした。福島町長は、どう判断するのか伺う。



小林 盛議員

答弁 放射性廃棄物の受け入れについては、事業主体である県において、放射性廃棄物は受け入れないという方針であり、私としても県と同じ考えである。放射性物質は自然界にも存在するものですから、具体的な基準については、今後県と協議して決めたい。

質問 県営馬頭最終処分場に、もし放射性廃棄物を受け入れなければならぬとすれば、新しい緊急事態の発生ということではないか。那珂川町民のほとんどの人達が県営馬頭最終処分場に、まさか放射性廃棄物が埋め立てられるとは、まったく想像もしていないことである。町民がそのことを理解できないうちに決定されてしまうことがないかどうか伺う。

答弁 放射性物質に汚染された産業廃棄物は受け入れない方針であり、事態は変わらないと考えている。

質問 どうしても放射性廃棄物を受け入れなければならぬことになった場合、きわめて長い期間放射能を出し続ける放射性廃棄物を安全に処分場で管理できるのか伺う。

答弁 放射性物質の安全管理についてであります。産業廃棄物については、先ほど申し上げた方針のとおりです。なお、指定廃棄物につきましては現在、国が検討を進めている指定廃棄物の最終処分場で処分することとなっております。町といたしましては、安全に管理ができると考えている。



ここが聞きたい
一般質問！
小林 盛議員

- Q 福島町長の選挙公約について
- Q 県営馬頭最終処分場における放射性廃棄物の扱いについて

一般質問！ 益子輝夫議員



益子輝夫議員

- Q 町長選挙の「3本の柱」・「6つの取り組み」と所信表明について
- Q 町の誘致企業トーセンの火災と今後の対策について
- Q 役場庁舎建設に対する新町長の考えについて
- Q 県営馬頭処分場建設と原発による放射能汚染物の搬入について

産業や農林水産物のブランド化などたくさん方法はあると思う。

質問 地場産業と言えば、70%も占めるこの町の林業をどう生かしていくかも重要だ。八溝材は評価が高くて関西の方でも有名と聞く。どう考えているのか。

答弁 当町の木材はすごく優秀と聞く。八溝材をさらにブランド化し、振興していきたい。

質問 柱の2つ目に「我が子の笑顔あふれる成長が実感できる町に」と幼児教育の充実を図るとしているが、大内保育園や富山の南保育園は馬頭一つにするのか。

答弁 子ども・子育て会議で計画を策定し、認定こども園という形で統廃合を進めていく。

質問 入園手続きは事業者と保護者の間ですることになるが、どうなるのか。認可について町が子育て責任を負うということで、子育て推進計画に基づき町が責任を負う制度を確立すべきだ。

答弁 国の考え方は事業者との契約となるが、町には私立がないので結果的には町の方の話になる。

質問 3番目の「年老いても安心して充実した生活が実感できる町に」では、「お年寄りのいる住宅の改造

資金支援制度を創設」とあるが、具体的な内容について教えていただきたい。

答弁 具体的な内容については、担当課あるいは庁舎内で従来より踏み込んで前向きに検討したい。

質問 大変喜ばしいことだ。高齢者の住宅を改良することで事故を未然に防ぐことができる。是非ともこの制度を充実させていただくよう要望する。

誘致企業トーセンについて問う

質問 火災の原因は何か。消火活動の問題点、今後に生かすべき点の3点を伺う。

答弁 まず町民の皆様と消防団員や地元行政区をはじめとする関係者も皆様にお詫びと感謝を申し上げます。町では大山田下郷活性化施設の敷地内に防火水槽を今年度中に設置することとした。火災の原因についてはまだ特定されていない。火災時の消火活動は広域消防が中心となり消防団が連携して実施した。今後は水利不便地を想定した中継訓練等を実施し有事に備えたい。

質問 今回の火災では地元や地域消防団が3日間休まず消火活動にあたった。町のトップとして特別な手

当を出す考えはないか。
答弁 同感だが、財政状況をみて検討する。

役場庁舎の変更はあるか

質問 庁舎建設が決まってるから「なぜ開発センターなのか」との声が多く聞かえてくる。変更はあるのか町長の考えを聞く。

答弁 検討委員会と議会の調査検討を踏まえ、ここにつくる考えをもっている。今後測量、地質調査を実施していく。

質問 開発センターは地理的に低く、過去に水がのった地域だ。庁舎は防災の本部になる所、しっかり考える必要があるのではないか。

答弁 そのことは聞いています。地質調査の結果、大丈夫という結論が出ればそこにするつもりだ。

産廃処分場の排水問題を問う

質問 処分場から出る排水は国の基準をクリアするといっても飲めるものではない。これが那珂川に放出されると飲料水の問題にもかかわる。どう考えるのか。

答弁 最新の処理方法があれば県との協議の場で要望する。

町長の選挙公約と所信表明について伺う

質問 町長は公約の3本の柱の一つである「働く喜びを実感できる町に」のなかで「企業誘致推進制度を設け、一つでも多くの企業を誘致します」と言っている。どんな制度を考えているのか。

答弁 企業誘致を仲介してくれた方にお礼をする制度があっても良いのではないかと思っている。

質問 企業誘致には私も大賛成である。しかし、経済状況などで時には撤退することもある。その時、どのように責任を取らせるか、その辺も検討していただきたい。また、企業誘致だけでなく、地場産業を強化していくのも大切だ。その辺、考え

があったら伺いたい。

答弁 農林水産物の6次産業化や農商工連携による雇用の拡大、地場

「日本で最も美しい村」加盟に伴う今後の町の対応について

質問 連合加盟を一つの起爆剤として、将来にわたり地域づくり活性化に向け町の考えを伺う。

①今後の町づくりの中、町の活性化地域の振興策、小砂地域の支援について

②「棚田のオーナー制度」「里山の整備」「小口川堤防の舗装整備」について

答弁 ①町全体が連合に加盟したと考へ、町内入口に歓迎看板、横断幕、パンフレット、ロゴマークの活用等を考へる。

②農家民宿を基本に積極的に協力、里山整備は4か所の里山林の管理を行っている。小口川沿線の農道整備を継続し実施できるよう、国、県に對し要望している。

質問 小砂地区が自立できるまで



阿久津武之議員

「日本で最も美しい村」に加盟した小砂地区



の支援について

答弁 運営費補助とし25万円ほどと東京事務所負担金として10万円を町として考へている。

質問 研修会や総会への旅費や宿泊費の補助について

答弁 町で全額を補助するのではなく、地元と協議をしていく。

質問 里山林の整備事業を継続してもらいたいと思うが。

答弁 管理事業、整備事業等要望があれば取り入れ、管理事業については継続して進めたい。

質問 県道大山田小砂線について

は、現在未整備であるが、整備の計画があるか伺う。

答弁 今のところ、整備計画には入っていないが、町として県の方へ要望していきたいと考へている。

県立馬頭高校の今後は

質問 地元の馬頭高校は町に對しての役割と利点について廃校になった場合、町内の児童生徒への影響、生徒を確保するため町としての支援や助成の考へを伺う。

答弁 那珂川町の活性化、また、全国唯一の水産専門学科があり休耕地を利用しホンモロコの養殖等地域の活力を生み出している。廃校になった場合別の高校に行くことにより町に對し親しみを感じず、地元に残る若者が少なくなり、地域の活性化が図れなくなる可能性がある。また、生徒に對し遠距離通学者の補助や、下宿代の補助が考へられる。

質問 地元に残す場合、働く場の確保が必要と思うが、町の考へは。

答弁 6次産業など関連する雇用の場を創出して、就職できるよう考へます。

質問 水産科は、その特色を生かして全国から募集し、下宿先の提供も

馬頭高校は今後どうなるのか。



あると考へられるが。

答弁 一つの方法として検討します。

質問 県の検討会議の結論が出る前に、存続のため同窓会や商工会、行政等町を挙げて検討委員会を立ち上げる考へがあるか伺う。

答弁 検討委員会を立ち上げたいと考へている。

ここが聞きたい

一般質問！ 阿久津武之議員

Q 小砂地区の「日本で最も美しい村」連合加盟に伴う今後の町の対応について

Q 県立高等学校再編計画の概要が示されたが馬頭高校の今後について

一般質問！ 佐藤信親議員



佐藤信親議員

- Q 溜池の保全と整備について
- Q 旧水産試験場跡地の整備について
- Q 町道の維持管理について
- Q 施政方針について

能を備えた溜池の整備を行う考えがあるか。

答弁 消防用水としての溜池の設置は困難と考えられるが、沢水等の利用等について有効に利用できるような消防団とも協議したい。

質問 消防用水だけではなく農業用水の確保の観点から溜池を整備すべきと考えるので、農林振興課と総務課で協議し設置できるような方向で検討できないか。

答弁 既存の溜池をまず有効利用を図り、必要な箇所等があれば関係機関と協議し設置できる事業があれば取り組みたい。

旧水産試験場跡地の整備について

質問 国道294号小川南バイパスの開通により旧水産試験場跡地の荒廃が目立つようになり景観形成上整備すべきではないか。

答弁 今後の利用については、議会特別委員会の付帯意見を尊重しながら土地利用について早急に検討したい。また、当面の間は除草等や雑木の撤去を行い景観を損ねないよう管理したい。

質問 対岸の管理している土砂置

き場は整備されているのに、町の管理地は荒れ放題の状況である。小砂地区が「日本で最も美しい村」に認定され町をあげてPRしているだけに、せめて整地し景観を保つべきではないか。

答弁 景観が非常に悪いことは、十分に認識している。堆積している土質を調査し、早急に対応できるように担当課と検討したい。

町道の維持管理について

質問 町内に400路線を超える町道があり、経年劣化による損傷、路盤軟弱による亀裂、小川地区では下水道事業による補修工事の劣化による亀裂等が見受けられるが、維持管理について伺う。

答弁 簡易な箇所は町で、他は建設業者に依頼しているが、経年劣化による亀裂等はますます増加傾向にあり、維持管理費も増加してくる。路線ごとに調査しその結果を踏まえ、予算の範囲内で計画的に舗装の打ち替えを行いたい。

質問 資材提供事業を創設し、地域住民との協働作業で実施すれば経費の節減につながると思われるが、創設する考えはあるか。

答弁 現在は、協働での作業はしていないが、地域の住民に協力をしていただけるよう方策を今後検討したい。

町長の施政方針について

質問 選挙中、町長は国・県との太いパイプを強調していたが、何を優先して要望していくのか伺う。

答弁 社会資本の整備が不可欠であり、新たな橋の建設、幹線道路である国県道の整備促進を重点目標として、国・県に粘り強く要望活動を展開したい。

質問 旧両町の融和を促進する意味でも新橋が必要で、過去の議会で全会一致で県に要望を提出していた踏まえ、国県に強く要望していただきたい。

答弁 交流人口、観光、工業、道路の状況等総合的に勘案すると新橋は絶対必要だ。また、地域住民の間にも必要だという声をバックに国・県に要望したい。

質問 これは要望だが、循環型の道路網が出来るよう、新橋建設に向けた土台作りと夢を町民に与えていただきたい。

溜池の保全と整備について

質問 農業用水と防火用水の機能を併せ持つ溜池の管理体制と整備について伺う。まず、溜池の管理体制は。

答弁 農業用の溜池の管理体制については、利用者が管理者となる。老朽化に伴う整備や災害復旧に関しては、国・県の補助事業を活用し整備支援を行っている。

質問 安全性の確保の観点から、関係機関である土地改良区と協議し保安点検等を実施し安全確保を図るべきではないか。

答弁 保安点検等については、土地改良区および管理組合・受益者等と協議し調査をしたい。

質問 次に林野火災等に備え、沢の奥に水源確保と防火用水との機

適応指導教室の利用充実のため に運営方法の改善を

質問 町は那須烏山市と共同運営の適応指導教室「レインボーハウス」の運営にどのように関わってきたのか。

答弁 要保護児童対策協議会において不登校に関してもケース管理をし、各学校、教育委員会、児童相談所、教育事務所、レインボーハウス、健康福祉課等、関係機関が情報を共有し連携し取り組んでいる。

質問 施設の老朽化とともに「レインボーハウス」の運営の仕方でも世の中の流れに合っていないのではないか。不登校児童たちの居場所として活用するため、運営方法を改善していくべきではないか。

答弁 色々な人間関係づくりを学ぶということをしている、高根沢町の「ひよこの家」などの運営方



益子明美議員

ここが聞きたい

一般質問！ 益子明美議員

法などもあり、今後の運営委員会の中で話をしていきたい。

質問 対象者はいるのに、利用が少ない現状をどのように考えているのか。

答弁 欠席が多いながらも登校ができてくるケースがあること、通学距離があること、通室にあたっての最終判断は本人及び家族の判断によるものが理由としてあげられる。



高根沢町にある「ひよこの家」

質問 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの設置と連携が、不登校対策に効果的であると考えるが、保護者や在籍校との連携を密にできるスクールソーシャルワーカーの設置を検討

できないか。

答弁 今年度から、町単独で配置しているスクールカウンセラーの活用の充実を図り対応していくので、現時点ではスクールソーシャルワーカーの導入は考えていない。

町長の所信を問う

質問 町が早急に対応しなければならぬ課題は何なのか。また、優先すべき事業は何か。

答弁 働く喜びを実感できるために積極的な企業誘致活動と6次産業の支援をすること。我が子のあふれる成長が実感できる町にするために、認定こども園を整備し安心して子育てができる環境の構築をすること。年老いても安心した生活が実感できる町にするために乳児から高齢者までの一貫した健康管理、訪問看護への取り組み、シルバースポーツの推進などに努めていく。

質問 元気で明るい町づくりのため、住民合意の政策を達成していくと述べられていたが、住民合意はどこで図られるのか。

答弁 さまざまな機会で町民の声をお聞きし、それらを町政に反映

させる行政を実施する。

質問 住民合意という点からは、処分場問題では周辺地域小口・和見・小砂との合意形成はされていない。町長が述べる住民合意の町政は、この問題では達成されていないと考えるが、住民合意をとらないまま進めるつもりか。

答弁 住民の理解は得られていると考えているが、今後も事業の進捗状況に応じて皆様の理解が得られるよう進めて参りたい。

民生委員児童委員協議会の交付金の増額を

質問 地域福祉活動の核を成す民生委員児童委員協議会であるが、町として協議会のことをどのように考えているか。また、協議会と委員の皆様との研さんのため町交付金の増額をすべきではないか。

答弁 地域福祉向上のためボランティアとして活動している、民生委員児童委員協議会と委員の皆様には深く感謝の意を表します。協議会の活動強化と、各委員の資質向上を図ることは重要課題であると考えていることから、平成26年度予算編成において前向きに検討していく考えである。

- Q 適応指導教室のあり方について
- Q 所信を問う
- Q 民生委員児童委員協議会について

教育民生 常任委員会所管事務調査

調査日程

11月13日

調査先

- ひよこの家—高根沢町
- レインボーハウス—那須烏山市

教育民生常任委員会

委員長 橋本 操

ひよこの家

教育民生常任委員会では、11月13日、高根沢町にあるフリースペース「ひよこの家」と那須烏山市の適応指導教室「レインボーハウス」を調査いたしました。

両施設とも町、市が運営する施設で不登校あるいは不登校傾向にある児童生徒の指導援助を目的としています。

ひよこの家は、農家住宅を借り上げたもので、現在15人程度の児童生徒が通所しており、子供たちは思い思いの場所で本を読んだり作業をしたりしています。

特徴的なことは、表面的な学校への復帰を目的とせず、学習意欲、社会性の向上を図りつつ、基本的に子供自身の自主性を重んじていることでした。

レインボーハウス

レインボーハウスは、現在14人程度が通所しています。当町からの利用者もあり、町でも負担をしています。

旧児童館を利用してはいますが、那珂川の近くにあり、川の環境を活用した活動などに利点があるものの、水害の懸念や施設の老朽化もあって、移設先を検討しているとのことでした。

ここでの指導目標は、学校生活への適応を図るということであ



民家を改築して活用



子どもたちは自由に勉強

り、高根沢町のひよこの家とは対照的でありました。

どちらにしても、学校に行くことのできない子供たちが、「自分の居場所」と感じられるような環境が必要であるとともに、そのための環境をどのように作り上げるか、子供にはいろいろな特性があり、これという答えがないのが実情と思われまます。

また、引きこもる子供をいかにこのような環境の中に足を向けさせるか、そして、進路指導とその後フォローという活動も大切なことであると感じました。

総務企画 産業建設 常任委員会合同所管事務調査

調査日程

11月19・20日

調査先

- 「木の駅プロジェクト美和」の運営状況ー常陸大宮市
- 庁舎建設における進め方及びスケジュールー福島県三春町
- 柳津西山地熱発電所ー福島県柳津町

総務企画常任委員会

委員長 小林 盛

総務企画常任委員会と産業建設常任委員会では、11月19日・20日の日程で、茨城県常陸大宮市の「木の駅プロジェクト美和」、福島県三春町では、庁舎建設における進め方及びスケジュール、柳津町では、東北電力が運営している地熱発電所の3か所を調査しました。

「木の駅プロジェクト美和」の運営状況

常陸大宮市の美和地区は、人口が昭和40年に8000人を超えていたものが、現在は3600人まで減少してきています。商店数も130軒から60軒まで減少し、高齢化率は37%という状況にあります。

そこで、地域の山林所有者等と呼びかけ、林地残材を軽トラック1台3500円で買い取り、引き換えに現金ではなく地域で買ひ物ができる「モリ券」を発行し、地域の活性化に役立てています。

現在、当町においても、那珂川町木の駅プロジェクトばとう実行委員会、事業を推進しているところです。

庁舎建設における進め方、スケジュール

福島県三春町では、庁舎建設における進め方とスケジュールについて説明を受けました。

三春町の庁舎は、昭和40年に建築され、東日本大震災で被災したことで、災害時に非常に危険な状態となりました。そのため、平成23年11月に、町民の代表や学識経験者などで構成される三春町公共施設整備方針検討委員会を立ち上げ、委員会で検討した結果、庁舎の建て替えが必要であるという中



三春町を調査

間報告がなされました。

それを踏まえ、町ではプロポーザル方式により設計業者を選定し、庁舎は地上4階建て床面積が3000〜3500㎡、総事業費が12億円ということでした。

議会としても、那珂川町の庁舎建設にあたって意見を求められる場合もあると考えられますが、三春町の庁舎建設方法等については、先進地の良い事例として参考にするとところがあると考えられます。

柳津西山地熱発電所

福島県柳津町にある柳津西山地熱発電所は、発電量が6万5000キロワットで約2万世帯が賄えるということでした。

地中のマグマで高温になった約200度から300度の熱水をくみ出し、その熱水から取り出した蒸気でタービンを回転させ発電を行い、その後、蒸気は地下に戻るという循環型の発電です。

地熱発電は、太陽光発電や風力発電と同様、二酸化炭素を排出しない環境にもやさしい自然エネルギーとして素晴らしいものと感じました。

《特別委員会の経過》

県立高校再編計画に関する調査特別委員会

第1回特別委員会

開催日 平成25年12月25日
内容

第1回の県立高校再編計画に関する調査特別委員会を開催し、県立高校再編計画の状況、栃木県の動きについて、小川成一教育長から説明を受けました。

第2回特別委員会

開催日 平成26年1月30日
内容

県立馬頭高等学校校長の田代和義氏に出席いただき、「県立高等学校再編基本計画」の概要について説明を受けました。

議会改革特別委員会

第5回特別委員会

開催日 平成25年12月25日
内容

9月に開催した、議会改革に関する研修会で、講師の田口一博先生から議会基本条例の制定は、時間をかけてという話があ

り、条例制定を当初の予定では、12月定例会を目標としていましたが、3月定例会に変更することになりました。

また、先生から8月に実施した町議会に関するアンケート調査において、若い人からの意見が少なかつたことも指摘を受けたことから、新成人者に対してアンケートを実施することにしました。

議会改革特別委員会

小委員会

第10回特別委員会小委員会

開催日 平成25年11月28日
内容

今後のスケジュールについては、議会基本条例の議決を3月定例会に変更すること。また、新成人者に対するアンケートを成人式当日に実施することとしました。

第11回特別委員会小委員会

開催日 平成26年1月22日
内容

議会基本条例（案）の内容検討及び議会報告会の開催について協議しました。

ご協力ありがとうございました

新成人者への

アンケート

議会改革特別委員会では、1月12日、成人式当日、新成人者に対して「町議会に関するアンケート調査」を実施しました。

これは、議会改革の一つとして行ったもので、若い人から議会に対する意見を聴こうというものです。

69人からご意見を

いただきました

質問の内容は、性別、議会に関心はあるかどうか、議員数や議員報酬についてなど10項目について伺い69人から回答を得ました。その結果、議会を見たことがあ



るかの質問では、27人が「ケーブルテレビで視聴したことがある」と答えています。また、議員報酬については、「多いと思う」が19人と最も多くなりました。

議員をやってみたいと 考えている人は6人

次に、議員をやってみたいと答えた人は6人で、その理由として「町民の意見をより多く反映させたい」や「町に興味を持ちたい」などがありました。



議員辞職

1月20日に、小林 盛議員から一身上の都合により辞職願が提出され、大金議長が1月22日付で辞任を許可しました。

議会報告会を開催します

議会改革特別委員会では、次の日程により議会報告会を開催しますので多数ご参加をお待ちしております。

◎第1回

・日時 2月25日(火)

午後7時

・場所 小川総合福祉センター

・内容

① 町議会に関するアンケート調査結果について

◎第2回

・日時 2月28日(金)

午後7時

・場所 馬頭総合福祉センター

なお、議会報告会は、2日間行いますが、内容は同じですので、最寄りの会場へおいでください。

② 議会基本条例について
③ 意見交換

議員研修会に出席

(町村議会議長会主催)

11月27日、宇都宮市で町村議会議長会主催による、町村議会研修会が開催されました。

研修会は、「分権時代における町村議会の役割と使命」と題し、明治大学政治経済学部教授の牛山久仁彦氏、後半は「これからの日本の政治」について、慶応義塾大学法学部教授の小林良彰氏の講演が行われました。

熱心に聞き入る議員



議会の日程と内容

(Pは記事の掲載場所です)

平成25年	13日	教育民生常任委員会所管事務調査(高根沢町、那須烏山町一不登校対策について P10)
11月	18日	平成25年第5回臨時会(契約の締結一スクールバスの購入)
	19~20日	総務企画・産業建設常任委員会合同所管事務調査(常陸大宮市、三春町、柳津町一木の駅プロジェクト美和など P11)
	22日	南那須地区広域行政議会臨時会
	26日	議会全員協議会
	26日	議会運営委員会 (第6回定例会について)
	27日	議員研修会 (宇都宮市 P13)
	28日	議会改革特別委員会小委員会

12月	4~6日	平成25年第6回定例会
	4日	総務企画常任委員会 (陳情の内容の検討について)
	5日	議会広報特別委員会 (第34号の発行について)
	13日	議会広報特別委員会 (第34号の発行について)
	25日	県立高校再編計画に関する調査特別委員会
	25日	議会改革特別委員会 (新成人者に対するアンケート調査の実施についてなど P12)
	25日	教育民生常任委員会 (体罰事件における意見書の内容について)

平成26年	7日	賀詞交歓会
1月	14日	議会運営委員会 (第1回臨時会について)
	17日	平成26年第1回臨時会(契約の締結 P4)
	17日	議会広報特別委員会 (第34号の発行について)
	22日	議会改革特別委員会小委員会
	30日	県立高校再編計画に関する調査特別委員会

2月	3日	議会広報特別委員会 (第34号の発行について)
	5日	島根県邑南町議会来町 (温泉トラフグ、ケーブルテレビなどについて)

ホンモロコ養殖

ホンモロコ養殖組合
連絡協議会会長

川和 義夫さん
(大内)



なかちゃんかホンモロコ養殖についてお話を伺いました。



Q 養殖を始めたきつかけは?

川和さん 大内地区には稲作に適さない湿田があるのでそれを活用して何か出来ないかということから始めました。

Q 人工ふ化を行っていると聞きましたが、どのくらいの数をふ化させているの? 成功の秘訣は?

川和さん 約20万粒です。やはり水管理と餌ですね。稚魚は、ワムシや

ミジンコを好むので、それをうまく発生させることができるかどうかが重要です。

Q 餌のやり方は?

川和さん 自動給餌機で餌を与えています。餌を与えた時に、数えきれないホンモロコの稚魚が集まってくる光景がすごいです。

Q 販売するまでの期間はどのくらい?

川和さん 5月に産卵させて、水揚げは10月から11月になります。

Q 一番おいしい食べ方は?

川和さん ホンモロコは、唐揚げや天ぷらも美味しいですが、塩焼きが一番だと思います。

Q 養殖で一番苦労したことは?

川和さん 大きく育てることですね。池の大きさによりますが、沢山の稚魚を入れると大きく育たないので、だいたい、4万尾ぐらいが限度です。

Q 採算はとれますか?

川和さん 1キログラム3000円で販売でき



ば、餌代や電気料を差し引いても利益は確保できます。

Q 最後にこれからの目標を教えてください

川和さん 今年400キロの水揚げが出来ましたが、安定的に生産できればと思っています。また、大きさをそろえることも大事なことですし、最終的には地域ブランド化を目指したいと思っています。

「キラリ町おこし」は、町おこしで頑張っている方にスポットをあて、紹介をしていく新コーナーです。

議会を傍聴しませんか

皆さんの身近な問題などが審議されます。あなたも一度傍聴してみませんか。

次の定例会は、3月5日開会(平成26年第2回那珂川町議会定例会)の予定です。議場は、小川庁舎3階です。

ケーブルテレビ(11ch)で議会が生中継されます。

編集後記

早いものです。ついこの間お正月を迎えたと思ったら節分も終わり梅の花の便りが届く季節となりました。

月遅れではございますが、町民の皆さん方におかれましては、平穩を願ひ初春をお迎えのことと存じます。

昨年を振り返ってみますと、異常気象が顕著で日本中いたるところに災害をもたらし、また、海外では特にフィリピンでの台風による被害は、異常ともとれる災害をもたらし、自然の恐ろしさを認識させられた年ではなかったかと思ひます。

一方、明るいニュースでは富士山が世界文化遺産に、2020年に東京オリンピックの開催が決まるなどしました。

さて、議会の動きですが、昨年12月の定例会で馬頭高校存続のため特別委員会が設置され、活動を開始しましたが、議会だけの力では存続は難しいと考えています。どうか町民各位のお力をお貸しください。また、議会改革も間もなく、皆さんにご報告できると思っております。

なお、議会広報が町民の皆さんに身近な広報となるよう見直していきたくと考えております。結びに、今年こそ目に見える那珂川町の一層の飛躍と町民各位の願望が「ウマ」くいくことを願ひつ。

議会広報特別委員会

委員長 塚田 秀知

第6回12月定例会の

議会傍聴者数

12月4日	17人
5日	4人
6日	0人

●表紙写真

題名

「議会改革アンケート調査」
撮影場所
小川総合福祉センター

◎議会では、議会改革の一環として、若い人から意見をもらうため成人式会場で、アンケート調査を実施しました。